

令和3年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 目的や意図に応じて、理由を明確にしなが、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力が身に付いている。
- 文の中における主語と述語との関係を捉えることができている。
- 目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考えることに課題がある。

【算 数】

- 商が1より小さくなる場面でも、場面から数量の関係を捉えて式に表し、計算をすることができる。
- 割合の2つの数量の関係をもとに数値の意味を理解しそれをもとに説明することができる。
- 集団の特徴を捉えるために、どのようなデータを集めるべきかを判断することに課題がある。

2 児童（生徒）質問紙に関する結果の概要

- 将来の夢や目標をもち、物事を最後までやり遂げ、うれしかった経験をもつ児童が多い。
- 学級での話し合いを生かして、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる児童が多い。
- 通信機器やゲームなどの使い方について、家庭での約束をきちんと守っているという児童の割合が少ない。

3 取組についての評価

(1) 教科に関する取組

- ① 効果があった取組
 - ・複数学年で算数科の少人数指導を取り入れ、指導の一貫性を図ったこと
 - ・家庭学習に、日々の学習進度に合わせたプリントを学年で作成し、学力の定着を図ったこと
 - ・朝タイムにおいて、漢字や計算を継続的に取り組んだこと
- ② 今後の学力向上に向けた取組
 - ・国語の学習において、目的に応じて、必要な条件を考え、スピーチメモをもとに話す機会を取り入れる。
 - ・算数において、複数のデータから自分に必要な情報を選択し、根拠を話す場面を取り入れる。

(2) 児童（生徒）質問紙の内容に関する取組

- ① 効果があった取組
 - ・学年に応じて、家庭学習の時間の目標を立てさせて取り組む家庭学習チャレンジの実施
 - ・学級活動や学級タイムを使って、自主的・自発的な活動の機会を多く設定したこと
- ② 今後の学力向上に向けた取組
 - ・保護者と一緒に情報通信機器の使い方について学習する機会を設ける。
 - ・キャリア・パスポートを有効に活用し、親子で将来の夢や成長について話す機会を確保する。